

濱本 真輔
法学研究科・准教授

[研究]

- ①基盤研究(A)「グローバル時代のエリートと対抗エリートの平等観と政策ネットワークの変容」において、アンケート調査を実施した。また、代表制をめぐる実証研究の動向を検討し、次年度以降の研究成果の準備を進めた。
- ②基盤研究(B)「議員交代比率の要因と帰結に関する比較研究」及び基盤研究(B)「中央・地方の選挙制度が政党システムの制度化に与える影響」の一環として、「国会議員の代表観」と題する論文を執筆し、『阪大法学』に発表した。
- ③『日本政治の第一歩』(有斐閣)と題する教科書の執筆に参加した。同書の第5章「議院内閣制と首相」を寄稿した。
- ④上記の基盤研究を含め、これまでの研究成果を『現代日本の政党政治』(有斐閣)としてまとめ、刊行された。

[教育]

- ①法学部の「政治学原論」(4単位)、「フレッシュマンセミナー」(2単位)「演習1a,1b,2a,2b」(各2単位)を担当した。政治学原論ではコメントカードを主とした質疑応答、2回の任意レポートを実施し、成績評価に組み込んだ。
- ②法学研究科の「政治学概論」(2単位)、「政治学特殊講義」(2単位)を担当した。特殊講義では代表制をめぐる研究動向について、規範及び実証の両面から受講者の理解を深めた。また、両科目において、受講者にペーパーの執筆を義務付け、各人に添削指導した。

[管理運営]

部局内委員として、法学部教務委員を務めた。

[社会貢献]

日本選挙学会・企画委員を務めた。また、龍谷大学で開催されたセミナー・研究会において、「なぜ日本の野党第一党は低迷しているのか？」と題して報告した。